

製品・サービス動向-国内

■ ネットウェル：フル HD 家庭用ビデオカメラを Web 会議システムに簡単に接続することができるコンバータを発売

(4月19日)

Web 会議用ビデオコンバータ NTCV-750
(ネットウェル)

株式会社ネットウェル (<http://www.netwell.co.jp/>) (東京都新宿区) は、「Skype for Business」、「Skype」、「Google Hangouts」などの Web 会議システムに対して、家庭用ビデオカメラの 1080p 解像度を 720p に変換する Web 会議用ビデオコンバータ「NT Converter for Video Conference NTCV-750」を開発、5月9日より発売した。

Skype for Business、Skype、Google Hangouts などのコミュニケーションツールを、企業内のセミナーや幹部講話、社内教育にも利用したいという声がたくさんあるという。しかし、これら Web 会議システムの映像入力の最大解像度が 720p(1280x720)であるため、ビデオカメラのフル HD 解像度 (1920x1080) を受け

付けることができないという問題があった。

そこで、同社では、ビデオカメラの映像を自動的に 720p に変換し、USB3.0 のポート経由でパソコンに取り込めるコンバータを開発、この度発売することになった。

NTCV-750 は、ビデオカメラからのフル HD (1920x1080) の映像信号を自動的に Web 会議システムが受けられる 720p(1280x720)に変換できるもの。その際、カメラとの接続には HDMI を、PC との接続には USB3.0 のポートを使用し、電源供給は PC 側の USB ポートから電源供給を受けるバスパワー式になる。

この製品を使用することのメリットとしては、家庭用ビデオカメラの高ズーム機能を利用することで、セミナーや大きな会議で講演者の顔の表情まで明瞭に見えたり、ホワイトボードに書かれてた文字がくっきりと読めるといったところのほか、USB カメラより優れた光学系により比較的暗い場所でも利用することができるなどがある。

窓口は、ビデオネットワークソリューション営業部。

■ ポリコムジャパン：人を会議の中心に置く、ビジュアルコラボレーション「Polycom RealPresence Centro」の日本市場向けの販売

ポリコムジャパン株式会社 (<http://www.polycom.co.jp/>) (東京都新宿区) は、ビジュアルコラボレーション「Polycom RealPresence Centro」の日本市場向けの販売を開始した。

Polycom RealPresence Centro は、人をコラボレーションの中心に置くコンセプトで開発された業界初の

製品。搭載している、特許済の 360 度対応のカメラやセンサー、高度な映像スイッチング技術を使うことで、遠隔地の参加者は 4 台のタッチ対応ディスプレイに映し出され、どの席からでも同じ映像を見ながら自然で、より緊密なコラボレーションが可能になる。また、参加者全員ひとりひとりが、参加者の場所に関わらず、あるいは、立ち上がって会議室内を移動した場合でも、バーチャルな輪を作り全員が目線を合わせて会話をできるように設計されている。



Polycom RealPresence Centro (ポリコムジャパン)

本製品は、ポリコムの認定販売代理店を通じて、4 月 26 日より提供開始する。価格は全てオープン。

■エムキューブ：治験・臨床研究における情報共有とコミュニケーションをサポートする「治験ラーニングサイトパッケージ」を提供開始

(4 月 18 日)

エムキューブ株式会社 (<http://m3cube.co.jp/>) (東京都港区) は、治験・臨床研究における情報共有とコミュニケーションをサポートする「治験ラーニングサイトパッケージ」を提供開始する。

この治験ラーニングサイトパッケージは、製薬企業や CRO (受託臨床試験実施機関) における、治験・臨床研究担当者、協力医療機関の医師などが共同利用できるパッケージサービス。

治験・臨床研究単位で、参加者管理が可能な専用ポータルサイトを構築し、同サイトを介して、資料や録画コンテンツなど治験・臨床研究に関わる情報の一元管理と共有が行えるとともに、関係者が一同に集まるキックオフカンファレンス、プロトコル確認ミーティングなど双方向性の高いコミュニケーションを Web 上で実施できる。

また、会員管理機能による、関係者のポータルサイトへの滞在時間や各コンテンツの閲覧時間から、個別訪問による対面コミュニケーションでは難しかった、関係者個人の習熟度を測ることも可能だ。

Web 上でのコミュニケーションには、株式会社ブイキューブのビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」を採用。サービスの提供に加え、カンファレンス運営自体をサポートするほか、動画コンテンツの制作から配信までをトータルにサポートしている。

このサービスの利用により、関係者間のコミュニケーションの頻度を高め、適切なタイミングで情報共有することができ、治験・臨床研究の効率的な進行と時間やコストの削減を実現することができるとしている。

エムキューブは、これまで、医薬品のプロモーションフェーズにおいて、製薬企業と医師の間のコミュニケーションを Web 上で実施し、情報共有の効率化を実現する Web 講演会サービスなどを提供している。治験・臨床研究フェーズにおいても同様のニーズがあることから、新たに同フェーズに特化したサービスを提供することとした。

ビジネス動向-国内

■ニューロネット：熊本震災を同社のサービスで支援するニューロネットサービス無償提供申込受付を開始

(4月19日)

ニューロネット株式会社 (<http://www.neuronet.co.jp/>) (東京都町田市)は、熊本震災を同社のサービスで支援するニューロネットサービス無償提供申込受付を開始した。

ニューロネットは、Web会議/テレビ会議/スマホで見えるコンタクトセンターをSaaS・ASPで提供しており、今回の無償提供では、スマートフォントランシーバー「Voisaar」と、映像・音声・写真・資料共有Web会議「SaasBoard」を、まずは2016年内(延長も検討)無償且つ無制限数で提供する。要望に応じて現地支援も行うとしている。

Voisaarは、スマートフォンをトランシーバーとして利用できるアプリ。震災支援作業で、複数人が離れた場所で連絡をとりながら作業を行わなければならない時や、被災地で家族同士、親戚親族などグループで連絡を取るのに便利だ。インターネットを使用した通信のため電話の輻輳を発生させることはないという。

Voisaarの特徴は、通常のトランシーバーのような電波範囲がないため、インターネットに接続している場所であれば日本中、世界中を問わず、トランシーバーのように交信が行える。交信は、1対1の通話のほか、1グループあたり50名まで通話が行えるグループを無制限に作ることができる。

無料アプリが、Google Play(Android型スマートフォン用)やAppleStore(iOS型スマートフォン)でダウンロードできるようになっている。ただし、利用にあたっては、ニューロネットのウェブサイトIDの申込をする必要がある。一方、Web会議SaasBoardは、映像・音声会話・資料等コンテンツ共有が出来、同社から提供されるIDを使用し、ブラウザからログインするだけ

で利用できるようになっている。

ビジネス動向-海外

■マイテル：ポリコム買収の最終合意を発表

(ポリコムジャパン：4月20日)

マイテル (<http://www.mitel.com/>) (Mitel、カナダ・オタワ)は、ポリコム社 (<http://www.polycom.com/>) (米国・サンノゼ)を買収することで最終合意したと発表。

マイテル社が、約19.6億米ドルの現金と株式交換取引によりポリコムの全発行済普通株式を取得することで最終合意に至った。

マイテル社とポリコム社の統合により、グローバルコミュニケーションのパイオニアおよびリーダーとして認められているマイテル社の技術と、ポリコム社のブランド力、そしてビデオコラボレーション市場における業界トップレベルのポートフォリオを組み合わせることで、業界をリードする新たな会社を設立する。

新会社は、カナダ・オタワ市に本社を置き、Mitel社の社名で運営されるが、ポリコムの強いグローバルブランドは維持する。経営トップは、マイテル社のCEO Richard McBee氏が統合組織の指揮を執り、マイテル社の最高財務責任者 Steve Spooner氏も任務を継続する。また、ポリコムは新会社の取締役会に2席獲得する。合併後、新会社の従業員数は約7,700人になることが見込まれている。

ポリコムは評価の高い世界的なブランドのひとつであり、現在は日々のコラボレーションのスタンダードとされ、高品質で革新的な音声会議およびビデオ会議ソリューションの代名詞と評されている。

マイテル社のビジョンとしては、ユーザにシームレスなコミュニケーションおよびコラボレーションを提供すること。同社の業界をリードする音声コミュニケーション技術と組み合わせることで、新会社は、エンタープライズ、モバイル、クラウド環境にわたって、

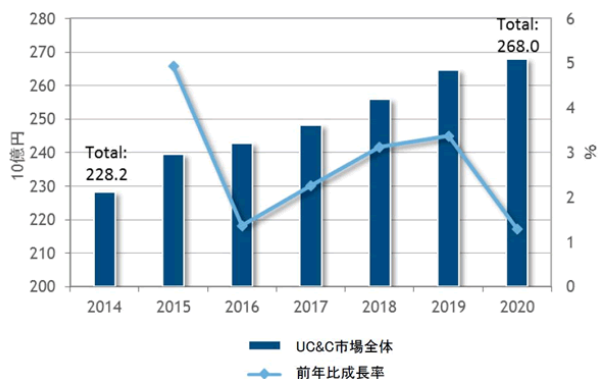
統合されたソリューションを、企業およびサービスプロバイダーに提供していく考えだ。

市場動向-国内

■IDC Japan：国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場予測を発表

(4月27日)

IDC Japan 株式会社(<http://www.idcjapan.co.jp/>) (東京都千代田区) は、2015年の国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション (UC&C) 市場の分析結果と2016年～2020年の予測を発表した。



国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション (UC&C) 市場 売上額予測 2014年～2020年 (IDC Japan)

IDC Japan では、ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション (UC&C) 市場を「IP テレフォニー市場」「コラボレーティブアプリケーション市場」「IP コンファレンスシステム市場」「IP コンタクトセンターシステム市場」の4つのソリューション市場に分類して、それぞれの市場について分析と予測を行った。

上記の分類を基に、2015年の国内 UC&C 市場規模は、前年比 4.9%増の 2,394 億 2,500 円で UC 市場は好調な成長を維持した。

この理由としては、2015年は、2014年から企業の音声インフラのリプレイス需要が持続したことのほか、コラボレーティブアプリケーション市場でのクラウドへの移行が見られ、その中で、特に e メールアプリケー

ション、ファイル同期/共有ソフトウェア市場のクラウド成長が著しかった、と分析している。

一方、IP コンファレンスシステム市場は、Web 会議は好調であったものの、据置型ビデオ会議システムが市場の小型低価格製品へのシフトによって成長が鈍化しているという。

よって、2016年の UC&C 市場は、2015年の市場拡大要因であった企業音声インフラ更新需要の一巡、ビデオ会議システムの低価格市場へのシフトなどの要因により、2016年は前年比成長率 1.4%と、2015年の成長率から鈍化すると予測している。

また、2015年から2020年の年間平均成長率(CAGR)は、2.3%成長し、2020年には、2,679 億 9,000 万円の規模になると IDC では予測している。その理由として、IDC は、東京オリンピック/パラリンピックに向けた音声基板再構築、インバウンド顧客サポートへの投資などが活発になるためとしている。ただし、開催後は、一時利用クラウドサービスの解約や先行投資の反動によって同市場の成長率は鈍化すると予測している。

なお、今回の発表は、IDC Japan が発行したレポート「国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場予測 2016年～2020年」(JPJ40607916) にその詳細が報告されている。

Report

※CNA レポート・ジャパン橋本啓介による検証レポート

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ブイキューブ:V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（前編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ:V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテクソリューションズ
(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html

■第7回教育 IT ソリューション EXPO

日時：5月18日(水)～20日(金) 10:00～18:00

会場：東京ビッグサイト東1、2ホール

主催：リード エグジビション ジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.edix-expo.jp/ja/>

■Polycom Day (大阪)

日時：5月24日(火) 13:30～16:00(受付：13:00～)

会場：グランフロント大阪 (大阪市北区)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：

<http://response.polycom.com/01-E-P-JP-PolycomDay-Regform>

■VTV ジャパンソリューションセミナー【誰にも聞けない!?

海外とテレビ会議する「5つのコツ」教えます!】

VTV ジャパン海外パートナーとのテレビ会議接続あり!

貴重な海外テレビ会議事情が入手できるかも!

日時：5月25日(水)・26日(木)・27日(金) 15:00～

会場：VTV ジャパン 東京本社/大阪オフィス

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1605vtv/>

■Polycom Day (名古屋)

日時：5月27日(金) 13:30～16:00(受付：13:00～)

会場：ミッドランドホール 会議室 A (名古屋市市中村区)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：

<http://response.polycom.com/01-E-P-JP-PolycomDay-Regform>

■Polycom Day (東京)

日時：5月31日(火) 13:30~16:00(受付：13:00~)
 会場：ポリコムジャパン新宿オフィス（東京都新宿区）
 主催：ポリコムジャパン株式会社
 詳細・申込：
<http://response.polycom.com/01-E-P-JP-PolycomDay-Regform>

■SPIRENT Communications Japan

ディベロッパーツール関連セミナー開催のご案内
 日時：6月1日（水）13:00-17:30（受付：12:30~）
 会場：アットビジネスセンター東京駅（東京都中央区）
 主催：SPIRENT Communications Japan 株式会社
 詳細・申込：<http://go.spirent.com/Japan-DT-Seminar.html>

<海外>

■Infocomm 2016

日時：6月4日から10日午前・午後
 会場：Las Vegas Convention Center
 主催：Infocomm International
 詳細・申込：<http://www.infocommshow.org/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

出展情報

■プリンストン：第7回教育ITソリューション EXPO

日時：5月18日(水) ~20日(金) 10:00~18:00
 会場：東京ビッグサイト東1、2ホール 小間番号：10-41
 詳細：
<http://www.princeton.co.jp/news/2016/04/201604281100.html>

※Tidebreak コラボレーションソフトウェア、Polycom RealPresence Debut、Polycom RealPresence Trio、Polycom RealPresence Group など展示予定。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年4月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp